

わくわく 防災フェスタ 成功裏に終わる



町内会主催の「わくわく防災フェスタ」を、3月9日(土)に豊田小学校で開催しました。
好天にも恵まれて、500人を超える方々に参加して頂きました。

「防災啓発と学びの発表」をコンセプトに、来場された
皆さんに楽しんでいただけるように企画しました。

体育館では、豊田中学校の器械体操部や日本空手道
黎明会の皆さんに演技を珠算教室の菅野様に
ギター演奏を披露して頂きました。



豊田中 器械体操部



日本空手道黎明会



珠算教室 菅野様

同じく体育館では、栄区役所や栄・防災ボランティアネットワークの方々による
防災グッズの紹介、消防団によるAEDを使った救命体験、飯島中学校茶道部の
皆さんによるお点前披露がおこなわれました。



栄区役所



栄・防災ボランティアネットワーク



飯島中 茶道部



消防団

校庭では、体験ゾーンや緊急車両として展示されたパトカーや起震車には大勢の人が列をなしていました。消防車、パトカー、ショベルカーに乗った子どもたちは大喜び😊😊😊
起震車で震度7の揺れを体験した親子は、「能登半島の人たちは本当に怖かったでしょうね」「家具などの転倒防止対策が必要だわ」と話していました。



栄消防署



栄消防署



栄警察署



栄土木事務所

クライマックスは、消防署員による校舎屋上からの救出訓練でした。その状況を横浜市による実証実験を兼ねたドローンによる撮影がおこなわれていました。その様子をモニターで見てドローンには災害時に大きな働きが期待できると感じました。



その他にも町内会役員や防災ボランティアによる下水道直結トイレの組立や備蓄庫の展示などを行い来場者に見て頂きました。

当日はスタンプラリーを実施して、体育館や防災体験や備蓄庫・備蓄品見学の3カ所のスタンプで防災グッズ等がもらえるようにしました。

500人分の景品がほとんどなくなる盛況ぶりでした。このスタンプラリーの準備やスタンプ押しなど、中高生のボランティアが大活躍しました。

今回のフェスタは、1月の能登半島地震や千葉県群発地震の記憶の新しいこともあって来場者の真剣に学ぶ姿が印象的でした。



前日・当日の朝からお手伝いをいただいた役員の皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

